

科学と社会委員会（第24期・第11回）議事要旨

1 日 時 令和元年10月17日（木） 12:15～13:30

2 場 所 日本学術会議5階 5-C（1）会議室

3 出席者 渡辺 美代子（副会長・委員長）、高橋 桂子（第三部会員・幹事）、
遠藤 薫（第一部会員）、藤原 聖子（第一部会員）、西村 いくこ（第二部会員）、
松浦 純（第一部会員）、平井 みどり（第二部会員）、古谷 研（第二部会員）、
坪井 俊（第三部会員）、
（欠席） 小林 傳司（第一部会員・副委員長）、甲斐 知恵子（第二部会員）、
小安 重夫（第二部会員・幹事）、中村 崇（第三部会員）、
藤井 良一（第三部会員）、沖 大幹（連携会員）、蟹江 憲史（連携会員）
（事務局）鳥生審議専門職

4 議事要旨

（1）SDGsに関わる提言のHP掲載について

- ・HP掲載の際に必要な日本語要約や英文キャッチフレーズ等を提言等の作成者に提出してもらえば、チェックシートに項目の追加が必要である。今期の内に次期でも持続できるような形にしておきたい。
- ・チェックシート作成の負担が重くなるのは良くない。チェックシート項目を少し整理しても良いのでは。
- ・SDGsのHP掲載に必要な要約等は期限を設けずに、公表が決まった後で作成することになれば負担が分散するのではないか。
- ・SDGsは、そもそもどこをターゲットにアピールするものなのか。
- ・SDGsへの取り組みは企業が目立つが、政府・省庁も注目しており、学術会議の関連提言もリファレンスに入れていくくらい参照しているという話も聞いている。
- ・そのような場合は、リファレンスに入れてもらうようHP等に記載しても良いかもしれない。
- ・SDGsに関するチェックシート配布時に、もう少しインセンティブになるようなことを記載した方が良いかもしれない。少なくとも掲載URLを記載した方が良い。また、HPが見られていることがわかるデータも記載するのが良い。

- 以上の議論を踏まえ、チェックシートを査読用の項目とSDGsに係る任意の項目の2つのシートに分ける形で改訂することとなった。

（2）提言等で異なる意見が出た場合の対応

- 高橋幹事より、資料2に基づき説明があり、意見交換があった。概要は以下の通り。
 - ・チェックシートについては、既存の提言等と異なる意見があった場合、具体的にどう異なるか記載するのが良い。
 - ・インパクトレポートについては、提言等の発出後に委員会内での意見の変化があった場合、それを受けたものであることがわかるような記述にすべきでは。
 - ・分科会は期ごとに一旦廃止するのが原則であり、事実上、同じ分科会が提言を訂正することはほぼ無いのではないか。その場合、親委員会が対応するのだろうか等、対応が難しい。
 - ・それは各々の委員会・分科会で決めて頂くしかないのでは。

- ・インパクトレポートには、「提言発出後の変化があれば書くことが出来る」という形で良いのでは。状況の変化に対応が必要な時にこういうものも使えるということを示す形である。フォロー・リカバーする際の選択肢になれば良い。
- ・特筆すべきことがあればお書きください、という形が良いか。更には「発出後さらに言及すべき事項が増えたか、過去の提言との関係性に変化があったか等」の例示が考えられる。
- ・現行ガイドライン別図の「遵守」という表現は一方的で強すぎるのではないか。また、「部」の表記が抜けている箇所がある。

●以上の議論を踏まえ、以下の通りとなり、規定関連の改訂については高橋幹事が事務局と相談することとなった。

- ・提言チェックシートは、既存の提言等と異なる意見があった場合、具体的にどう異なるか記載するよう改訂する。
- ・インパクトレポートは、提言発出後に意見の変化があった場合、それを書きたければ書けるような項目を追加する。
- ・ガイドラインには、上記のような方針を追記する。また、ガイドライン別図の文言を適正化する（「遵守」という言葉が強すぎる、「部」の表記が抜けている等）
- ・会長メッセージは、上記に沿うよう改訂することを、渡辺先生から会長に提案してみることにする。

（３）今後の活動について

- 渡辺委員長より、資料３に基づき説明があり、意見交換があった。概要は以下の通り。
 - ・今期、本委員会から報告等を作成するかどうか。
 - ・何らかの形で本委員会の議論を発表した方が良いだろう。今期の活動を来期に伝える必要もある。長いものを書く必要は無い。この時期、このようなことは重要だと考えたことは残した方が良い。
 - ・内容はもう少し簡単で良いのではないか。
 - ・提言等を SDG s で整理したことを軸とし、今後は更に提言等を SDG s に沿う形で出しやすくする、という方向性を提示するのはどうか。
 - ・分科会に適切な執筆者が居ればそちらに担当してもらっても良い。
 - ・資料３の４．の項目はこれまで議論しておらず、調査等も間に合わないので、削除する。
 - ・各項目を各執筆者に書いて頂き、集まったものを議論して修正をしていく形にしたい。
- 以上の議論を踏まえ、報告を作成することとし、渡辺委員長と藤原委員で相談の上、執筆担当の案をメールでお知らせすることとなった。

以 上